

第113回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	受 取 手 形
売 掛 金	未 収 入 金	満期保有目的債券	仮払法人税等
備 品	売買目的有価証券	消 耗 品 費	固定資産売却益
未 払 金	備品減価償却累計額	売 上	有価証券評価益
有価証券利息	有価証券売却益	還付法人税等	支 払 利 息
減価償却費	追徴法人税等	仮 受 金	有価証券売却損
固定資産売却損			

- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 朝比奈商店は、平成20年7月12日に、額面総額 ¥ 1,000,000 の社債（利率は年3%、利払日は4月末および10月末）のうち半分を、@ ¥ 99.00 で売却し、代金は端数利息とともに当座預金に振り込まれた。なお、この社債は、平成20年6月1日に @ ¥ 98.50 で売買目的のために購入したものである。端数利息は売却日までの日割りで計算する。
- ㈱岡部商事は、過年度分の法人税等について更正を受け、税金の還付額 ¥ 500,000 が当社の当座預金に振り込まれた。
- 井伊商店では、デスクトップパソコン ¥ 200,000 および、プリンターのインク代 ¥ 10,000 の支払いのため作成した2通の小切手が、決算日現在、未渡しであることが判明した。なお、当店は、これらの小切手を作成した際に、当座預金の減少として処理していた。
- 関口商店（年1回、3月末決算）は、平成20年6月30日に備品を ¥ 3,000,000 で売却し、代金のうち半分を現金で受け取り、残額は翌月10日に受け取ることにした。この備品は、平成19年4月1日に購入（購入代価 ¥ 3,900,000、直接付随費用 ¥ 100,000）した固定資産であり、残存価額は取得原価の10%、耐用年数は9年、償却方法は定額法、記帳方法は直接法によっている。当期分の減価償却費も月割計算により合わせて計上すること。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2	当 座 預 金	498,000	売買目的有価証券	492,500
			有価証券売却益	2,500
			有価証券利息	3,000
3	当 座 預 金	500,000	還付法人税等	500,000
4	当 座 預 金	210,000	未 払 金	210,000
5	減 価 償 却 費	100,000	備 品	3,600,000
	現 金	1,500,000		
	未 収 入 金	1,500,000		
	固 定 資 産 売 却 損	500,000		
別解	減 価 償 却 費	100,000	備 品	100,000
	現 金	1,500,000	備 品	3,500,000
	未 収 入 金	1,500,000		
	固 定 資 産 売 却 損	500,000		